



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和7年7月)

- ◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

- ・お1人様、月1回のみのお受講となります。
- ・令和7年4月以降の認定産業医研修会をお申し込みされる産業医の方は**医師会会員情報システム(MAMIS(マミス))の登録が必須**となります。
- ・令和7年4月以降の単位付与はMAMISにより行います。**単位シールの現物配付は禁止**となります。
- ・MAMIS対応のため、ホームページの利用者登録に新たに**「生年月日(西暦)」「性別」「医籍登録番号」**が必要となりましたので、御登録をお願いします。

日医認定産業医研修(令和7年7月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
6月2日(月)	10時～	7月1日(火)	14時～16時	事例検討に学ぶ海外勤務者の健康管理	実地2
	10時30分～	7月4日(金)	14時～16時	産業医の職場におけるメンタルヘルス相談対応について	専門2
	11時～	7月8日(火)	14時～16時	定量的フィットテストの実際	実地2
6月3日(火)	10時～	7月11日(金)	14時～16時	治療と仕事の両立支援	専門2
	10時30分～	7月16日(水)	14時～16時	リスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステムの実際(その1 講義編、その2 実習編)	専門1 実地1
	11時～	7月18日(金)	14時～16時	ストレスチェック医師面接のコツ	専門2

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
7月1日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 6月2日(月) 10時～	事例検討に学ぶ海外勤務者の健康管理 各種産業分野の国際化に伴い、海外勤務者の数が増加している。特に近年は、海外出張を繰り返す形で海外事業を運営する企業が増加しており、海外出張者の健康管理の重要性が高まっている。今回の研修では、海外駐在者および海外出張者の事例を提示し、その事例の健康管理方法についてグループワークを行いながら、海外勤務者への適切な健康対応を学んでいく。	濱田 篤郎	生涯・実地2	36
7月4日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 6月2日(月) 10時30分～	産業医の職場におけるメンタルヘルス相談対応について 職場のメンタルヘルス問題において、産業医は中心的な役割を果たすことが求められています。たとえば、産業医はストレスチェックおよび面接指導を実施する等の場面で中心的な役割を担っています。また、労働安全衛生法第13条第3項において、産業医は、労働者の健康管理等を行うために必要な医学に関する知識に基づいて、誠実にその職務を行わなければならない、と明言されています。このことを踏まえこの講義では、産業医の職場におけるメンタルヘルスに係る相談対応への関わり方についてお話しします。	森田 哲也	生涯・専門2	55
7月8日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 6月2日(月) 11時～	定量的フィットテストの実際 化学物質のばく露対策として呼吸用保護具を使用する場合にはフィットテストが必要です。呼吸用保護具が個々の顔にフィットしていないと、期待される防護性能が得られません。ここでは実機を使ってフィットテストインストラクターがテストの実際をご説明します。	日本カノマックス(株) クリーンエアソリューションズ ディヴィジョンマネージャー 有松 仁	生涯・実地2	30
7月11日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 6月3日(火) 10時～	治療と仕事の両立支援 少子高齢化、グローバル時代の中で重要度が増している『治療と仕事の両立支援』の総論として、療養の考え方、復職判定、事例性/疾病性、医学用語の事例性の言葉への翻訳、気づきにくい症状(invisible symptoms)などの基礎知識を解説します。『治療と仕事の両立支援』の各論として、①メンタルヘルス不調と就労、②がんと就労(がん予防・がん検診・がん治療と仕事の両立支援)、③循環器疾患と就労について解説します。	遠藤 源樹	生涯・専門2	55

<p>7月16日(水)</p> <p>14:00~16:00</p> <p>申込受付日時 6月3日(火) 10時30分~</p>	<p>リスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステムの実際 (その1 講義編、その2 実習編)</p> <p>事業場においてリスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステムを運用する場合のポイントと留意事項を説明します。 リスクアセスメントとシステム監査については、簡単な事例で実習を行います。</p> <p>※単位の取得には「その1 講義編」、「その2 実習編」の両方の受講が必要です。どちらか一つだけの受講は認められません。</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>生涯・専門 1 生涯・実地 1</p>	<p>50</p>
<p>7月18日(金)</p> <p>14:00~16:00</p> <p>申込受付日時 6月3日(火) 11時~</p>	<p>ストレスチェック医師面接のコツ</p> <p>今まで200件以上のストレスチェック医師面接(高ストレス者面接)を担当した経験から、効果的な医師面接の進め方を考えます。 医師面接にはどういう人が来るのか、問診票の活用法、面接の初めに何を伝えるか、ミニレクチャー、ミラクル・クエスチョン、面接の終わり方、報告書・意見書の書き方などのコツをお伝えします。 医師面接を初めて担当する嘱託産業医を念頭に置いています、面接の進め方を迷っている方もどうぞご参加ください。</p>	<p>㈱ジャパンEAPシステムズ取締役・顧問医 米沢 宏</p>	<p>生涯・専門2</p>	<p>55</p>

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて6月2日(月)10時～です。

<web研修> ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、お申し込みください◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
7月10日(木) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 職場の安全と安心を守る カスタマーハラスメント対策</p> <p>カスタマーハラスメント(以下カスハラ)対策は従業員が安心して働ける組織づくりのために必要不可欠なものであり、事業所として対策を講じることが求められています。ですがカスハラは社内のハラスメントと違い、社外の顧客関係が複雑にからんだデリケートな問題です。 トラブルから組織や従業員を守るためカスハラ対策の取り組み方について考えてみましょう。</p>	産業カウンセラー 森井 梢江	70

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
7月3日(木) 14:00～16:00	<p>企業の問題解決に役立つ交流分析(Transactional Analysis)～「契約」について～</p> <p>エゴグラムで広く知られている交流分析(Transactional Analysis:以下TAと称する)には、様々な理論や概念があります。それらは、心理療法のみならず、職場の様々な場面(健康管理、研修、人間関係など)での問題解決に活用できます。本研修では、その概念の一つである「契約」についてご紹介いたします。</p>	藤里 智子	55
7月7日(月) 14:00～16:00	<p>すすめよう職場のスマート禁煙！</p> <p>職場の禁煙化は、法律や条例、ガイドラインでも示された労働衛生上の重要課題の一つです。本研修会は、研究成果を基に作成した科学的根拠に基づく「効果的な職場の受動喫煙対策の推進方法」を提案しております。 令和14年度には、望まない受動喫煙のない社会の実現が国の目標です。まずは、その推進方法を知ることからはじめてみませんか？ ◆注意◆ 本研修会は、禁煙化されていない事業場の関係者を対象とします。 参加型研修で、グループワークがあります。</p>	斎藤 照代	45
7月9日(水) 14:00～16:00	<p>「メンタルヘルス・マネジメント入門」～社員を円滑に専門家につなぐ方法～</p> <p>社員にメンタルヘルス不調が発生した場合、その社員が医療、もしくは産業保健スタッフに繋がるまでは、主に管理監督者もしくは人事労務担当者が関わることになります。そこで、社員を精神科に繋げるためには、精神科が必要だという根拠を示し、かつ精神科の受診を勧めるという勧奨スキルも重要となります。個人情報ややりとりにも、丁寧に「同意を取る」関わりが必要です。本研修では、社員を円滑に専門家につなげるための方法について解説を行います。</p>	(株)ジャパンEAPシステムズ 臨床心理士 松本 桂樹	55
7月15日(火) 14:00～16:00	<p>過労死等の労災認定基準と認定状況について</p> <p>労災保険制度は、仕事や通勤で怪我をしたり、病気になった場合等に必要な保険給付を行い、社会復帰を促し、被災者や遺族の援護を行うとともに、職場の安全や健康を確保するなどの役割を担っています。 仕事の原因の病気(業務上疾病)のうち、過労死等は増加していますので、労災認定基準や認定状況について理解を深め、過労死等の防止について考えていきましょう。</p>	野村 みどり	55
7月24日(木) 14:00～16:00	<p>労働安全衛生管理基礎講座④</p> <p>「労働安全衛生法」の中で労働者の健康管理(衛生管理)に関連する条文は数多くあります。実際には、「労働安全衛生法」だけでなく「労働安全衛生規則」をはじめとした諸規則の理解も必要になります。 本講座ではテキストに当センター発行「令和6年度版労働衛生のハンドブック」を使用し、法令に基づく労働衛生管理の基礎について4回に分けてわかりやすく解説します。 また労働衛生に関する最新の動向も紹介します。 今回はその4回目、快適職場、作業環境測定等の他、過重労働による健康障害防止対策にとって重要な労働基準法(労働時間管理関係)について解説します。 本講座は令和6年度に実施した同名の講座と同様の内容となっておりますが、令和6年以降に改正された法令等については改正後の法令に基づき解説します。 なお、「令和6年度版労働衛生のハンドブック」は、当センターのホームページに掲載しております。</p>	中山 篤	55

<p>7月25日(金) 14:00～16:00</p>	<p>メンタルヘルス対策とアルコール健康障害の支援・対処方法を考えてみましょう ～節酒？ 断酒？ 行動療法の取り組みの効果はどうか～</p> <p>アルコール問題を抱えた職場対応、退職者の支援はどうか。飲酒問題が見えてきておりますでしょうか。今回はアルコールに関して少し学習してみませんか。アルコール依存症に対して、いまは、病院で、「断酒」だけでなく、お酒を減らす治療「減酒」も勧められています。</p> <p>「自身・大切な人の気になる習慣があったら、お酒を減らすことから始めてみませんか？」</p> <p>アルコール健康障害は本人の健康問題だけでなく、その家族への深刻な影響や重大な社会問題を生じさせる危険性がとても高いわけです。いまは健康障害が減っているのか、若い人のお酒離れも言われています。現状はどうかでしょうか。</p> <p>事例を取り上げて、どんな支援が必要か、生活習慣病の支援も一つ、視野に入れて、一緒に学習しながら考えていきましょう。</p>	<p>労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子</p>	<p>55</p>
---------------------------------	--	--	-----------